

## 自由討論

**稲生** 今回は政治の側面から「民主主義とは何か」について語っていただいた。政治の中で変えていかなければならない問題を提起していただいたと思う。自己紹介をかねて、みなさんの感想、お考えをお話しいただきたい。

**河村** 今回、ブログで演説会というので、出席しようと思ってきた。知った人がないと来れないのかなと思いがらすわっていました。民意の反映しない政治というのは感じるがありました。

**大川** 稲生さんから熱心にさそいをうけて初めて参加した。民意とか民主主義とか色々考えていた。民意というのはきわめて危ういものと思わされる昨今である。少数者が大事にされる社会でなければならない。少数者のなかに真実があることも多い。少数者の弱い立場の人が隅っこに追いやられたり、少数者にされたり。少数者が大事にされる社会を形成することが大切だと思う。

### 翻弄される民意

**重岡** 今日で2回目です。1時間半、井原さんの話で、ぐさぐさ痛いところに身にしみて市会議員として、民意を反映した行動をとっているのか、私にたいする批判だと受けとめながら聞いていた。私は民意の翻弄ということを常に考えている。民意は揺れ動いて、定まっていない、と常に思っている。平成17年に日米合意のなかで、空母艦載機59機が来ることになった。まちがいなく岩国市の多くのかたが反対された。その後選挙をつうじて、賛成・反対の過程のなかで、若干音も外に出て行った。そのなかで由宇の町も騒音が少しおさまったねという、気持の変

化みたいなものが出てきて、「重岡、もううるさいと言わなくてもいいんじゃないか」という雰囲気はただよいはじめた。それも民意かと思った。ところがオスプレイをもってきて、訓練が始まって、戦闘機の烈しい訓練が強まり、決められたルートを通らなくてまちがいなく由宇町の市街地上空を飛ぶようになり、住民投票のときの「だめだ」という民意が今おこってきた。「またがんばってくれ」という意見がでてきた。「我々は、先を見据えて提言しているんで、ちょっとの間おとなしくなったからといって、それは根本的な艦載機の影響が変わったわけではない、オスプレイの問題で変わったわけではない。将来をみつめて言っている」と理解を求めている。つまり、民意の翻弄という問題。これを投げかけてみたかった。

もう1点、ちょっと前に、上関原発について、反対、凍結、中止という話がでたとき、岩国市議会で、当時の民意を反映したものとして、岩国市議会の対応ができたかどうか、疑問だ。私は、個人的にはもう上関はいらない、中止しなさいと思っていた。しかし市議会はシャーベット状の、いつ溶けてもいいような凍結を可決した。さらに全会一致でやってしまおうとしたのである。全会一致でシャーベット状でまとめるか、中止で意見書をまとめるべきではないか、と悩んだ。結果的に私は中止という意見を守った。みなさんはシャーベット状の「凍結」のほうにいかれた。結果的に全会一致がやれなくなった。そこで市民クラブを退会した。ここにも民意を反映するために、どこまで身体をはって、みんなと一緒にや

るべきであったか、独りでも中止を通すべきであったのか、当時は悩んだ。今ではそれが正しかったと思う。民意の翻弄、ということで訴えてみたかった。

**稲生** いま民意が揺れ動いている、という大事な発言があった。後で討論していきたい。

**西本** 50年間家のなかにこもっていた。勉強させてもらいたいとおもって。きょうはとてもわかりやすいお話で、ありがとうございました。

**津田** 井原さんの話はいつも語られていることで、身近で聞いていることだが、こうしてまとめて聞いてみると、新鮮な言葉に聞こえた。私は行政が情報を開示するのが一番大切じゃないかなと感じてきた。これは DVD をもってきたのだが、アメリカ大統領を批判した内容のもの。これをぜひ皆さんに見ていただきたいと思って紹介する。

**岡田** 私が常に思っていることは、私たちの身近な生活のなかで、当然考えなければいけないことが全然考えられていない。たとえば毎年広島で原爆の記念式典というのをやっている。小学校1年生が原爆の平和の詩を読んだ。沖縄が6月23日に記念式典をやった。小学校1年生が平和の詩を読み、平和な家族、平和な学校、平和な沖縄を守るために自分も何かやりたいといっていた。普通の日常生活のなかで、平和はこうあるべきだ、政治はこうあるべきだとかを考えなければいけない。今原爆で毎年苦しんで亡くなっているのに、まだ、上関は、安倍政権になれば原発が大切になるといっている。30年位前に、片山町長が上関の原発をつくってくれと頼みにいった。そういうことを平気でやるという神経がわからない。もっと私たちの生活のことを考えたり、家族で話したりすることはできないのか。

私たちの普通の生活がもっとまともに見えれば、原発がいけないことはすぐわかるはずだ。

民意に反することも平気でやる。

アメリカが言えば日本は何でもきく。日本はアメリカに負けたのだから、アメリカのいうことはきかねばならない、簡単なことでも考えない。子供のうちから教えていけないのだろうか。さきほど井原さんがリンカーンのことを言った。リンカーンは子供のとき貧しかった。ノートがないからシャベルのうらに分数計算をしたとか。「アンクルトムの小屋」という小説をストウ夫人が書いて、それを子供のときにリンカーンが読んで、これが奴隷解放につながった。だから日常生活のなかで民主主義を育てていかなければいけない。戦争にも原発にも反対しなければいけない。ただ、カラオケへいったり、温泉へいったり、遊びほうけているおばさんがいっぱいいる。一ぺん私たちの太平洋戦争の記憶を思いおこして、日常生活のなかで話し合いすることはできないのかと思っている。

### 政治家の質を問いたい

**南部** 私もほぼ似たようなことをしゃべりたいと思っている。井原さんの話は、井原さんとここ数年一緒に行動してきたので、考えることもだいたい共通しており、とくに異論はない。話を聞きながら考えていたことは、政治家の資質はどうあるべきかということ。高潔な人格者であれば一番いいのだが、そんな人間は数多くいない。人間としての倫理観、基本的にこれだけは、きちっとしたものを持っている人間でなければ、政治家になってはいけないと思う。原発の問題について、福島がああいう状態になっているのに、なおも MOX 燃料

をフランスから輸入し、原発を再開しようとしている。福島の人を受けた傷は、とても金で計算できるものではない。人間という立場でみたときに、どうして原発再開に舵をきることができるのか不思議に思う。倫理観の欠如と言わざるをえない。

では、倫理観はどうしたら形成されるのかということ为先ほどから考えていた。岡田さんの話にもあったが、教育だと思う。学校教育のなかで人間形成に大切な時期に、人間としてこうあるべきだということ教える。昔の修身教育にあたるようなものが必要ではないか。そこから手をつけないと、なかなか日本に民主主義は育たないと思う。これは別の機会に再度議論していきたいテーマだ。

**田村** 市議会議員5期目である。ちょっと数日前、行事があったのを新聞で知った。県議会の副議長が祝賀会をした。1000人出たそうだ。岩国市から就任し、その祝賀会があった。この小さい町で1000人の人が。私はまったくそれがわからなかった。(男性7000円、女性5000円)。これが民主主義か、と懷疑。今日の話とはずいぶん違う話だとびっくりした。派閥の問題とかあるが、私は18年間1人でがんばったので、数の力だけできまることの多い議会ではやりにくいこともあるが、現実のなかで私たちが力を出さねばいけないのだということ。現実はもっときびしいということ、これが現実だということだと思う。

#### かしこくならねばならない市民

**藤村** いまほどひどい政治になったことはない。安倍の政治にはらがたってしかたがない。私は戦争を知っているから、安倍のやることにいちいち腹が立つ。とく

に大島郡、東和町は柳居の地元だ。国を愛する人は犯罪者にされた。ほんとうに民意が反映されないということだ。原発が好きないない。大儲けするひとは別だが、もちろん戦争も好きなひとはいいない。しかし選挙してみたらみんな原発をすすめる人、憲法を改正して戦争のできる国にしようとする人に投票する。だから民意が全然反映されていない。天につばをはくような選挙をしている。賢くなって、私たちの考えることが政策に反映されるように、みんなが賢くならねばいけないといつも思う。

**岩田** 爆音に悩まされている一人である。選挙の話がでたが、全国的に投票率がさがっている。若い層にぜひ沢山井原さんの話をきいてもらいたいと思う。若い層にわかしてもらって、政治に関心をもってもらう、そういう面で及ばずながら頑張ってやっていきたいと思う。

**小原勇** 毎回ほんとに勉強になって、私の身になっている。そのなかで今日は、民主主義と民意ということ勉強させていただいた。民意と民主主義が独り歩きする。日本は中身は後進国だとおもう。民意は必要なときに民意が利用されて、民意はまったくないほうがよいような感じもする。身近かなところから何からやっていくかということ、民意をどうするかは、国民、県民、町民の意識の薄さがあると思う。もっと身近かのところから、自分の利害ではなく、その認識をみんなにひろげることをはじめなければいけないと思う。少しずつでも輪をひろげながらやっていく。原子力についてもまったく同感。安倍さんが世界に誇れる技術があるなら、そういう国こそ原子力を廃止する、日本が率先して原子力を廃止する、そうしたら世界から尊敬される総理になる。しかし人を人とおもわない。経済

さえよければいい。恥ずかしいことと思う。ひとりでも原子力をやめる努力をする、すごいことだと思う。立派な政治家を生み出すものになる。身近かなところからやっていかなければいけないと思う。

**小原津智江** 政治などについては主人と同感である。率先行動している。大島は独裁者の島である。きのうは岩国の人に見に来てもらった。久賀（高校）は小中高の文教地区である。安下庄（高校）はがけの上で、地震があったらどこへ逃げることもできない。バスの時間も二倍かかる。そのことになると熱がはいる。

**稲生** 一通り自己紹介をかねて感想をのべていただいた。新しい政治家が求められているというが、どういう方法を考えたらいいのであろうか。どういうことを考えたらいいのであろうか。

**井原** 民意が揺れ動いているということの危うさということは大事だ。

**稲生** 民意が揺れ動くということの意味について、どういう風にとらえたらいいのであろうか。

**井原** 私は最近、研究者やマスコミから現在の状況を聞かれる。そういうなかで、あれだけ反対が強かった市民の声は、民意は変わってしまったが、どうしてか、と聞かれることが多い。本物の民意は変わっていないといつも答える。本物の民意は変わっていない。住民投票の結果、あの思いはいまでも変わっていない。表面的な意見は変わっている、それは民意ではない、といつも答えているが、それは民意ではない、といつも答えている。いまでもお金などは別にして艦載機部隊がくることについて議論すれば、反対だ、という声は変わっていないと思う。それが本当の民意だ。本来の民意が活かされるように、努力しなければいけない。

### お金は民意をねじまげる

本来はそうだが、お金をつぎこまれて金につられてそちらの方に行く。しかしお金は民意を判断するものではない。ねじまげるものだ。中間的な多くの市民は、本来は反対でいやと思っているが、時の経過とともに、国に庁舎の補助金をカットされ、圧力をかけられ、賛成派の人たちから財政破たんするといわれ、国防は国の専管事項だから変わらないと宣伝された。そういうなかで時間が経過すれば、長いものには巻かれるしかないという諦めの気持ちが多くの人のなかに出てくる。表面的に表れる選挙の結果はかわって来る。しかしそれは本来の民意ではない。短期的表面的なものにとらわれず、できるだけ誤解がないよう、真実をひろめていき、民意が正常に表明されるように努力しなければいけない。

事態はどんどん変わっていく、オスプレイがやってきて、艦載機も移駐される、まどんどんと現実がでてくるなかで、本来の民意がまたよみがえってくるのではないかと思う。できるだけ早くよみがえるように政治は努力しなければいけないと思う。

**小原** 民意をおおいかぶせていて、もとは大切な民意がある。署名をみつめた。しかし金とか何とかおおいかぶさって、本来の民意が忘れられている。現実に艦載機がきて騒音がひどくなったら、はじめからわかっていたという。そういうことを一日も早く呼び起こすためには、現実をみなさんに知らせることが大切。大島で署名したことは決して無駄ではなかった。騒音がひろがったとき、もっと早く気がつけばよかったと思うだろう。粘り強くがんばっていただきたいと思う。

**津田** 忘れるというか、あきらめということじゃないかと思う。福島原発事故のあ

と、電力会社の社員が、死者がでなかったからと発言があった。そのまえの東海村の臨界事故は、福島原発事故よりはるかに小さな事故で死者が出た。私は事故（福島原発）が起こったとき、あれですんだのはラッキーだったと思う。しかし電力会社の社員が、東海村の臨界事故で死者が出たことを知らないはずがないと思う。それを平気で言える、忘れる、忘れない、真実を避けたいという人間の心理があるのかもしれない。

騒音の問題でも、滑走路移設後のジェット機の爆音が小さくなったとおっしゃる方もいる。はたしてそう感じているのか、自分で思いこもうとしているのかという問題がある。この間騒音の勉強会で、騒音を3デシベル（3デシベル増やすとエネルギーが2倍に、下げると半分になる）変えているのに、感覚的にはわからない。少し違うかな、というぐらいだ。それくらいなら現実には多分わからないのだろう。沖合に移ったから低くなったという思いこみもあるだろうと思う。私はその音を聞いて、レベルを半分にした音（エネルギーが半分の音）が耳のなかへはいつてくる感覚があり、レベルが低い音の方が高く感じたと言った。レベルが下がっても、思いこみというものもある。あきらめとかそういうことにつながっていくのだろう。韓国や中国は執拗に自己主張する。それに比べて日本人は淡泊で、まあまあで収める。それが民意が揺れ動くことなのかと思っている。

**南部** 今の話に関連。福島で直接死者はでなかったが、間接死者がどれだけでいるか。表面にはでていないが、自殺者などかなりでている。もう2年でしょう。仮設住宅に押し込められてまともの生活をしていない。そこに思いがいかなくしゃいけないのではないかと。

## 国民投票は重要

民意をただすのに何が大切かという、国民投票だと思う。原発、憲法改正など、今後を左右する重大なことは、国民投票にかけべきだ<sup>2)</sup>。かければ全国から声が出てくる。憲法96条を改正して2分の1にするという。まさに倫理観なしですね。大きな問題については国民投票にかけてきめるというシステムをつくるべきだと思う。

**河井** 井原さんにお尋ねしたい。井原さんは市長として直接民主主義で選ばれた。それと一般の間接民主主義と、相互に補い合うのだろうが、これから直接民主主義の方向へ重心が少し移っていくべきだし、それができるのではないかと。（井原さん自身、住民投票という画期的なことをやった）

**井原** 国民投票、住民投票というのをもっと普通にやられるようにすべきだ。みな敬遠する。国民権、市民に権限が由来しているから、市民が意思を示す機会をつくるのはあたりまえのこと。政治がそれを敬遠するのは問題だ。今後の将来をきめる、原発、エネルギー、憲法はまさに国民投票できめべきだ。憲法を擁護する人には国民投票を嫌う傾向があるが、危険性があるけれど、しかし国民投票でやるとなったら、数年をかけて討論して勝たねばならない。十分まもることも可能だと思う。その過程でものすごい議論がおこり、政治の意識がたかまって、ものすごくいいことだとおもう。安易な96条の改正は行うべきでない。憲法だけでなく原発も国民投票ができるようにすべきだ。インターネットなどさまざまな手段が発達しているから、直接民主主義的な手法もとり入れられるようになる。弊害もすごくあるから、弊害のないように

うまく活用することが必要。

## インターネットによる政治参加は慎重に

**河井** インターネットについては、私は非常に懐疑的だ。これにはアソビの要素がはいってくる。非常に重要な問題をアソビの手法でやっていくのはおそろしい。それ以外の本来の直接民主主義の方法でやるべきだ。(日本のインターネットに親しんでいる若い世代は、まだインターネットで政治を冷静に議論できるほど、政治的に成長していない。注意しないと、「維新の会」のような「暴走」を助長することになりかねない。現在は為政者と国民、首長と市民が直接に膝をまじえて対話するなどが非常に大事だ。井原さんが多くの市民と対話するために歩いたというのも直接民主主義の理想的な形だ)

**井原** 日本の「緑の党」、ドイツの「みどりの党」や若者がインターネットを活用した新しい政党ができて<sup>3)</sup>いる。党の政策をきめるときは、すべての党員がインターネットを使って討議し、一定数以上の賛成がえられたら、党の政策にしていく。全員参加で政策をきめ、運営をきめる。いままでにないやりかた。それによって党員何人かが中心になって提案すればそれが政策として採用されるかもしれないとして、党員の魅力になってもある。他の政党でも起こってくるだろう。

**河井** インターネットの使い方の工夫が必要だ。

**南部** ネット選挙はもろ刃の剣だ。利点もある。中国のような制約の多い国で、動員をかける手段としてインターネットが活用されている。

**稲生** 時代の現象をどう捕まえていくかだ。

**南部** 民意を誘導することも必要ではないか。

**井原** 私が夜中に書いたブログをみて、今日お二人が参加された。瞬時に伝わる。フェイスブック、ツイッターなどがある。フェイスブックで、友達がふえている。自分の活動を公開しているが、たとえば南部さんが友達になってくれとってくる。南部さんの活動状況を見て、つまらないと思えば友達にならない。面白そうだとおもえばOKだと、とたんに友達になって会話がはじまる。そういう友達がふえる。原発とか憲法とかを意見交換することができる。デメリットもあるが、うまく活用していくことが必要だ。

**稲生** 時代的な変化の問題があつて、現在をかえていくにはどうしたらいいのか。新しい政治家をもとめていくにはどうしたらいいのか。市民の倫理観のなさ、無知、無関心がはびこるなかで、本当に変化するものをつかんでいけるのか。国民投票の問題も民主主義の問題として、徹底的に議論していく必要があるだろう。直接民主主義や地方自治の問題も重要な課題になる。国が指示することを、地方が黙って聞くのではなく、市民が考えたことを自治意識で実現していく。市民が賢くなることが必要だ。今日は面白い議論が出てきたと思う。「国民投票」「地方自治の実現」については改めて演説をしてくれたら、もっと進展するのではないか。

## 注記

1. DVD「オリバーストーンが語るもうひとつのアメリカ史」(アイゼンハワーと核兵器; J.F.ケネディ前面核戦争の瀬戸際; ベトナム戦争運命の暗転; 唯一の超大国アメリカ; テロの時代ブッシュからオバマへ) (津田利明製作)
2. 「憲法」第96条は「憲法改正」と「国民投票」について次のように規定してい

る。

第九章 第96条 [改正の手続き、その公布] ①この憲法の改正は、各議院の総議員の三分の二以上の賛成で、国会がこれを発議し、国民に提案してその承認を経なければならない。この承認には、特別の国民投票又は国会の定める選挙の際行はれる投票において、その過半数の賛成を必要とする。

### 3. ドイツ「みどりの党」(Die Grünen)

1970年代、環境保護団体として結成され、1998年47議席獲得、「ドイツ社会民主

党」と連立内閣をつくる。2011年3月福島原発事故の直後、「みどりの党」代表がバーデン・ヴュルテンベルク州首相に選出され、ドイツの原発廃止決定にはずみをつけた。

日本「緑の党」 2012年結成。脱原発の政策をかかげる諸政党を応援。2013年「緑の党グリーンズ・ジャパン」と改称。「すみやかに脱原発を達成し、持続可能なエネルギー社会へシフトする」などの環境保護政策を掲げる。

### 発言者 (50音順)

稲生 慧	岩国市岩国	小原津智江	周防大島町久賀
井原勝介	岩国市今津町	重岡邦昭	岩国市由宇町
岩田政弘	岩国市由宇町	田村順玄	岩国市牛野谷町
大川 清	岩国市岩国	津田利明	岩国市桂町
岡田久男	岩国市本郷町	南部博彦	岩国市平田
河井弘志	周防大島町日前	西本フク子	岩国市錦見
河村待子	岩国市錦見	藤村英子	周防大島町下田
小原 勇	周防大島町久賀		

演説 I - V および自由討論から得られた

## 検 討 課 題

### ① 安保、日米地位協定について

- ・ 憲法9条と自衛隊 専守防衛、集団的自衛権の問題
- ・ 自衛隊は軍隊か その存在意義について

- ・ 米軍基地の管理権
  - ・ 艦載機移 59 機移駐、オスプレー配備と低空飛行について
  - ・ 現在の沖縄・厚木・岩国の基地周辺の爆音被害をなくするための対策
- ② 原発の存在意義
- ・ 要不要の問題
  - ・ 使用済み核燃料、放射性廃棄物、汚染水 などの処理技術
  - ・ エネルギー政策
  - ・ 福島県民が早く自宅に帰られるための施策
- ③ 民主主義について
- ・ 議会制民主主義と議会の機能、議員の在り方
  - ・ 選挙の結果は民意か
  - ・ 地方自治の在り方（市民の自立）
  - ・ 民意とは 揺れ動く市民 — 政治参加の意識（無関心派）
    - 情報公開条例 政治倫理条例 などの意義
  - ・ 民意を把握する 住民投票 国民投票 の重要性
  - ・ 住民の意思表示としての 住民運動の働き
- ④ 憲法 96 条、憲法の改正問題
- ・ 国旗（日の丸）、国歌（君が代）の是非
  - ・ 文化、教育について、国家の介入と統制は

☆ これらの課題を議論しながら、提案や政策を構築していきたい。多角的発言こそ重要である。

## 関連資料のご案内

「市民自らの政策をもとう！ 第 1 回個人演説会」DVD 映像記録 津田利明製作。

利用を希望される方は、世話人、または津田利明氏にご相談ください。

DVD 映像資料「オリバーストーンが語るもうひとつのアメリカ史」DVD 映像資料 津田利明製作。

（内容：アイゼンハワーと核兵器；J.F.ケネディ前面核戦争の瀬戸際；ベトナム先導運命の暗転；"唯一の超大国"アメリカ；テロの時代ブッシュからオバマへ）

利用を希望される方は、津田利明氏にご相談ください。